

伊達な
国際交流員の
つれづれコラム
vol.85



「イースター」
Easter

英訳版を
見る▶



アメリカでは、春の祝日といえばイースターが思い浮かびます。イースターは、イエスの復活を祝うキリスト教の祝日です。多くの信者は教会で祝います。しかし、子供たちにとっては、別の楽しみがあります。

イースターには、クリスマスのサンタと同じように象徴的なキャラクター、イースター・バニー（復活祭のウサギ）がいます。イースターの前日に子供たちがイースターバスケットを用意すると、イースター・バニー

が来て、その中にお菓子や、地域によっては小さなプレゼントを入れます。お菓子は通常、ジェリービーンズ、卵の形をしたチョコレート、ウサギの形をしたチョコレートの詰め合わせです。お菓子は楽しみのひとつで、僕がもっと楽しいと思うのは、「イースターエッグハント」です。僕が子供の頃は、家族で卵の色塗りをしたり、デザインしたりしました。そしてイースターの朝、両親は卵を隠し、子どもがそれを見つけます。誰が卵を多く見つけられるか、兄弟で競い合いました。国際交流員は、今年もイースターエッグハント（詳細は24ページ）を開催しますので、楽しみにしててください！

（キヤメロン）

4月からタイトルをリニューアル！国際交流員が暮らしの中で感じたことをつづります。

地域の魅力
ふる里再発見

ながくらたてあと
長倉館跡の発掘調査速報

令和6年度ミニ展示
古文書からわかる村の暮らし展

4/20(土)～5月19日(日)
伊達市保原歴史文化資料館

長倉館跡は、伊達小学校の改修工事に伴い2回の発掘調査が行われています。最初は、アリーナ建設工事に伴い令和2（2020）年度に行われました。調査では、溝跡が発見され、この溝跡の中から鎌倉時代の陶器の破片なども見つかりました。その他、多くの柱の穴が見つかりました。

二回目は、講堂建築工事に伴い令和4（2022）年度に実施されました。調査では、溝跡や建物跡・塀の跡などが見つかりました。出土品は、鎌倉時代から室町時代の陶器や磁器などの焼き物のほか貨幣（開元通寶・元豊通寶）も発見されています。貨幣は、当時（鎌倉時代から戦国時代）日本では铸造していませんでした。中国からもたらされた貨幣が貿易などで使用されました。

このほか2回の調査では、平安時代の土器も発見されています。長倉館跡の



長倉館跡調査区全景



中世の土器・貨幣

周辺では、平安時代から人々が活動していたことが明らかとなりました。鎌倉時代から室町時代、伊達小学校の周辺は、館跡の西側に町屋などが展開した可能性も考えられます。現在の長岡地区の街並みがこの時代頃から形作られ、展してきた様子が読み取れます。

にじいろのたて(男女共同参画に関するさまざまな用語を紹介)

『ドメスティック・バイオレンス(DV)』…女性や子ども、高齢者や障がい者など
家庭内の弱者への家庭内暴力のこと。

相談窓口

